

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2016-02-01

APM news 143

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

第3回一流美術館大学 11月26日(木)pm6:00-8:00 / 参加者:19名 / 講師:甲賀正彦、高田清太郎、秋山孝

1.日本ブックデザイン賞2015の報告

2.絵を読む1 / レンブラント「イサクの犠牲」、カラヴァッジオ「イサクの犠牲」



秋山孝ポスター美術館長岡(APM)・蔵において第3回一流美術館大学が開催された。一流美術館大学は、法人会員を中心にAPMの活動に多大な協力をしてくれる方々を招待し、教養を深めるための勉強会を催し、食事を楽しみながら知的な会話を交わす社交の場である。今回の企画内容は2つ。1つは今年度APMで初開催となった日本ブックデザイン賞2015の報告、もう1つは絵画を読み解くという内容である。また、会の中では昨年に引き続き畠山徳雄ギター教室の畠山徳雄氏によるギター演奏が行われた。

「絵を読む1」ではイタリアのカラヴァッジオとオランダのレンブラント・ファン・レインのそれぞれの描く「イサクの犠牲」から、両者の描き方の違い、宗教観の違い、そして「イサクの犠牲」という神話の意味について東京工芸大学の甲賀正彦氏、APMサポーターズ倶楽部会長の高田清太郎から講演していただいた。「イサクの犠牲」は長年子どもに恵まれなかったアブラハムが、晩年ようやく授かった一人息子イサクを生贄に捧げるよう神に命じられる試練の話であり、その1場面を描いたものが、絵画「イサクの犠牲」である。

秋山からの「聖書には旧約と新約があるが、両者の違いは何か」という質問に対し高田は、「旧約は掟の世界、新約は贖罪の世界」と簡潔にキーワードを述べた後、その詳細を次のように表現した。旧約聖書は掟の話である。掟を守ることが人を愛することに繋がり、掟を破った罪人は罰を受ける。そもそも旧約、新約の「約」とは「神との契約」を表している。今回の演題である「イサクの犠牲」も神との約束をアブラハムは守ることができるかどうか試されている。対して新約聖書は贖罪の話であり、神の子イエス・キリストがその愛と恵みによって人間を救済し、救っていくという筋書きである。

甲賀氏からは宗教における絵画について話を伺った。旧約聖書に登場する「十戒」。その中では「偶像崇拜の禁止」を唱えているが、なぜこんなにも宗教絵画は発展してきたのか。当時、大衆の識字率は低く、文字が読めずとも大意を伝えることのできる絵画による布教が大変効果的だったことが理由のひとつとしてあげられる。

こうした背景の中で発展してきた宗教絵画であるが、カラヴァッジオとレンブラントの「イサクの犠牲」を比較したとき、いくつかの明確な違いがある。甲賀氏が指摘するのは天使。本来天使に性別はないが、画家によって男女どちらかに寄せることが多いという。カラヴァッジオの天使は男性的な姿であるのに対し、レンブラントの天使は少し女性らしい柔らかさが表情に見られる。また、秋山は描かれたナイフに着目した。カラヴァッジオの描くナイフは切れるナイフなのに対し、レンブラントの描くナイフは先の丸い装飾的なナイフである。

このように同じ題材で描かれた2つの絵画からいくつもの発見がある。秋山は、APMをただ絵を展示し、鑑賞するだけの美術館にしてはならないと考える。勉強会を開き、美術について学ぶ場を設けること、研究することが大切なことであると述べた。講義で美術を学び、その後は食事を楽しみながら美術について語ることが、一流美術館大学の喜びであり楽しみ方である。(森山奈帆・APM職員/公式ホームページより抜粋)